

DSP排水処理システム装置の不具合と、その是正改善事例

事例ー1

DSPハイブリッドシステムの酸素溶解装置が破損し水漏れの事故が発生しました。原因は、処理槽で未分解の繊維質を循環ポンプが吸い込み、酸素溶解装置の出口で閉塞を起こし、過大な水圧が装置に掛かったことと装置の耐圧不足でした。



是正措置

1、酸素溶解装置の耐圧強化を図りました。2、循環ポンプの吸い込み口にスクリーンを設け繊維質を吸引しない方式に変更し、装置内へ閉塞物の侵入をシャットアウトしました。



事例ー2

処理槽のMLSSの値が高くなり、微細気泡吐出し装置は空気吸入口から吸い込みが弱くなり、DO値の低下を招き処理能力の低下と臭気の発生を引き起こしました。



是正措置

小型ブローラーを設置し、空気自然吸入口に強制的に空気を吸入しました。結果は、DO値が回復し臭気が消え、処理能力の回復を図ることができました。



事例ー3

ディスポーザー処理槽設置室の排気箇所より臭気が排気され、周辺に弱い臭気が漂いました。



ディスポーザー設置室の給気箇所を調査の結果、給気部の金網に埃が付着し、給気役目を果たしていませんでした。結果は処理槽内の臭気をDSP処理槽開口部隙間より吸引し、臭気は排気ファンを通して排出していることが判明されました。



是正措置

給気部のフィルターを洗浄した結果、給気部から十分に給気し、左写真の排出箇所より、臭気のない空気が排出し正常な状態となりました。



処理槽内に臭気が存在し、開口蓋を開ける維持管理時に臭気が槽外に漏れ周辺に悪影響を及ぼすため、槽内臭気緩和のために処理槽下部・汚泥引抜口を掃除口で閉じ臭気を封殺しました。



水物語 No23 広大な釧路湿原は冬近し、丹頂鶴の季節です！！



釧路湿原は、3000年前に沼地に生い茂ったヨシやスゲが炭泥化して現在の湿原となりました。釧路川とその支流を抱く広大な湿原は、広さで日本最大といわれています。湿原の大部分は、ヨシ・スゲ湿原ですがミズゴケ湿原も一部にあり、食虫植物のモウセンゴケやコタヌキモが生息する。また、タンチョウやエドセンニュウ、ベニマシコなどの多くの鳥類繁殖地・休息地となっています。

特にタンチョウは夏季繁殖期には道東各地に広がっていますが、冬には釧路湿原に戻ってきて越冬します。また、日本最大の淡水魚であるイトウ（サケ科）やキタサンショウウオなど希少な動物も多く、貴重な自然の残る領域です。



眺望は、高台にある複数の展望台から眺めるか、遊歩道を歩いたりカヌー等による川下りによって湿原観察を行うことができます。また、JR釧網本線は一部の区間が湿原内を通るため、列車に乗ったまま眺望することができます。湿原の東端には、「細岡展望台ビジターズ・ラウンジ」があります。蛇行する釧路川を一望でき、正面にキラコタン岬が望めます。どこか別天地にいるようでゆったりと自然がつくった絶景を見ることが出来ます。

早いものでもう12月、本年もお世話になりました。

東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F  
汚泥ゼロ・臭気ゼロ  
ハイブリッドシステム推進中！  
株式会社クリーンテックサービス